

あ と が き

[ゆとり]の中で「特色ある教育」を展開し、児童生徒に「生きる力」を育成することを基本的なねらいとし、学習指導要領が改訂されました。各学校では、創意工夫を生かした特色ある教育、特色ある学校づくりを一層進めることや、教師一人一人のより主体的で創造的な教育への取組が求められるようになりました。

新しい時代の教育に対応する教師の資質・能力の向上には、教育研究に役立つ理論と実践を結び付けた手引書が必要であると考えます。

群馬県教育研究所連盟の「実践的研究のすすめ方—新しい教育の創造—」は、平成6年11月初版発行以来多くの方々にご利用されてきました。この書によって多くの先生方が教育研究を推進したことと思いますが、時代の変化に対応した分かりやすい手引書作成への要請を基に改訂することとなり、改訂委員会を中心として検討を重ねてまいりました。この間、先輩諸氏から種々ご指導をいただきました。

本書の刊行に当たっては、「実践的研究のすすめ方—新しい教育の創造—」の基本的理念を尊重しつつ新しい要素をできる限り取り入れ、要望にこたえるよう努めてまいりました。意を尽くせなかった点もありますが、皆様のご批評をお願いするとともに、本書を教育実践と教育研究の向上に少しでも役立てていただけたなら望外の喜びであります。

本書の刊行に当たり、直接執筆を担当された諸氏、資料の提供でご協力をいただいた方々、さらにご指導をいただいた先生方並びに東洋館出版社の編集部長西村嘉之氏をはじめとする皆さんに、心からお礼申し上げます。

平成13年2月

群馬県教育研究所連盟副委員長 青木 忠